



50周年スローガン

下和泉小だより 11月号

令和5年10月31日

未来へ向かって 絆をつなごう ～笑顔満開 下和泉～



横浜市立下和泉小学校

伝えていく大切さ

養護教諭 小袋麻美子

校庭の木々も少しずつ色づき、金木犀の香りがどこからともなく漂ってくる季節となりました。日が暮れるのも一段と早くなり、朝晩の冷え込みに晩秋の訪れを感じます。季節の変わり目、かぜなどひかれぬよう、衣服で調節しながら過ごしてほしいと思います。

10月に入り後期が始まりました。私は毎朝、健康観察で各クラスを回っています。クラスみんなに「おはようございます」と伝えると、元気な挨拶が返ってきます。元気いっぱい返してくる挨拶、今月の歌を歌っていても会釈をしてくれたり、勉強していても手を止め挨拶をしてくれたり、先生より先に「おはようございます」を言うのだと、クラスで一致団結し挨拶をしてくれるクラスもありました。私はこの時間がとても大切に思います。毎朝、子どもたちと挨拶を交わす時間、始業前の時間に何気ない会話をしてスタートできる一日。この日常が当たり前のようで当たり前じゃない、挨拶を交わす喜びやコミュニケーションを通して縮まる人と人との距離、この大切さを実感する日々となっています。



私は保健室で子どもと関わる中で、大切にしていることがあります。それは「伝えていく」ことです。保健室では、子どもの成長を感じられる場面がたくさんあります。けがをした子をやさしく寄り添いながら連れてきてくれる姿、保健室から借りたものをお礼とともに返せる姿、「ありがとう」と「ごめんなさい」がきちんと伝えられる姿、他にもたくさんの子どもの成長を感じています。反対に、これから成長していかなくてはならないと思う場面もあります。走ってはいけないうところで走ってしまったり、友達との関わりの中ちくちく言葉を言ってしまったり、学校生活の中で間違っただ判断をしてしまうこともあります。そんな時は、どうすればよかったのか、次からどうしたらよいのかを一緒に考え、何度でも伝えていくことが大切なのだと思います。伝え続けていく言葉の積み重ねが、子どもの心にいつか響く、伝わると信じて声をかけていきたいと思っています。もちろん、素敵な姿が見られたときも同じです。小さなことかもしれない、些細なことも言葉で伝え、褒められた喜びや自分では気づけない心の成長を子どもたちに感じてほしいと願っています。

小学校は、心の成長だけではなく、身体も大きく成長する大事な6年間です。3食の食事、十分な睡眠、適度な運動、歯みがきといった生活習慣を整えることが、子どもの健やかな成長には欠かせません。学校と家庭が協力し、子どもたちの健やかな成長を支えていきたいと思っています。ご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

今月は創立50周年を祝う「50周年記念式典」を執り行います。これまで積み重ねた50年の歴史、50周年を共に祝う喜び、これまで支えてくださった保護者の皆様、地域の皆様、そして何よりも下和泉小学校への感謝の気持ちを改めて感じられる機会になってほしいと思います。